

Q 素敵な風景写真を撮るコツは？

A1 一番キレイな瞬間を待ってみよう。



素敵な風景に出合ったその瞬間だけを撮るのではなく、最高の瞬間を待つことも大切です。例えば、空を撮る場合は数分で色が変わるので、夕景から夜景に変わるタイミングを狙いましょう。

A2 人を中心に風景を切り取ろう。



建物など風景と一緒に記念撮影をしたとき、建物を全部入れようとする、人物が小さくなり過ぎてしまうので、一歩前を出て、人物に寄って撮ることで、風景を生かすことができます。

A3 人を風景のアクセントに。



撮りたい風景の中に思いがけず、人が入り込んでくることもあります。そんなときは、人物を邪魔だと思わずに風景の中に溶け込ませて、写真のアクセントにとぐっと雰囲気があります。

Q 食べ物をおいしく撮るコツは？

A1 フラッシュを使わずに自然光を生かそう。



フラッシュを使って撮影すると、レストランなどでは、周囲の光の色に影響されてしまいます。自然光を生かして撮影することで、食べ物が自然な色で写ります。

A2 食べ物の特徴を捉えよう。



ファインダーの真ん中にお皿全体を入れずに、食べ物のディテールがわかるように、寄って撮りましょう。背景に飲み物を少しでも入れ込むことで、カフェの雰囲気がつくれます。

A3 キュートな小物で彩りをプラス。



飲み物を撮りたいとき、つい被写体だけを写そうとしてしまいがちです。色味がシンプルな飲み物は、お花やキュートな小物を添えると、華やかな写真になります。



写真の先生 須藤夕子

2000年からフリーランスとして雑誌やCDジャケット、広告など国内外問わず活躍中。Canon EOS学園講師としてポートレート撮影、テーブルフォトの講師を務める。著書に初の写真集『Catch Your Smile!』、『須藤夕子のHOW TO笑顔泥棒ルミックスマイル』などがある。

フォトグラファー 須藤夕子さんが伝授。

もっと写真を上手に撮るコツを教えます

Q 人物を魅力的に撮るにはどうしたらいい？

A1 何かに夢中になっている瞬間を狙いましょう。



特に食べているときはいい表情になることが多いので、シャッターチャンスです。何かを持っているとそっちにピントが合ってしまうので、顔にきちんとピントを合わせましょう。

A2 後ろ姿も撮ってみよう。



人物は正面から撮りがちですが、後ろ姿を撮ることで「長い一本道を走ろうと挑戦してるところなんだろうな」という想像が膨らんだり、物語を感じる写真になります。

A3 寄り引き、タテとヨコなどアングルに変化を。

寄り引き、タテとヨコなど、アングルを色々変えて撮ることで、いろんな表情が引き出すことができます。プロのカメラマンのように、たくさん撮って、お気に入りの一枚に出会いましょう。

